



第8回(通算第20回)通常総会議案書

日 時 : 2012年5月26日(土)

10:30~14:00

場 所 : 藤沢産業センター

総 会 次 第

1. 開 会

2. 理事長挨拶

3. 来賓挨拶

4. 議長選出

5. 資格審査

6. 議事審議

第1号議案 事業報告

第2号議案 決算報告および監査報告

第3号議案 定款の改訂

第4号議案 役員改選

7. その他報告

事業計画および事業予算

8. 閉 会

はじめに

住みよい地域はそこに住む人が作り上げるべきものと、市民参加の街づくりの活動を始め21年目に入りました。20周年記念式典を無事に終え、たくさんの励ましの言葉と『ぐる一ふ藤』メンバーとしての誇りを胸に今新たな一步を踏み出しました。

4月からの介護保険改正は様々な波紋を広げています。単価の基準となる時間区分を減らしたりずらしたりして単価を抑えるとともに、複雑な加算を増やし制度をさらに解りにくいものになっています。利用者の生活にもっとも近い訪問介護は短く切り刻まれ、その役割は評価されているとは思えません。利用者の生活を支える制度ではなく、制度に生活を合わせざるを得ません。さらにその結果事務量を膨らませ無駄な仕事を増やしています。現場で働くものと利用者へのしわ寄せばかりが目立つ改正です。もっとシンプルで解りやすい制度に作り替える必要があります。

東日本大震災で被災された地域のNPOには引き続き支援を行っていきます。被災から一年が経ち、日々の生活に必要な支援物資は大方行き届いた感があります。これからの支援としてはその地域にあった自立のための方策が必要です。市民福祉団体全国協議会と協力しながら、皆で知恵を出し合い地域再生を後押しして行きます。

生活の基盤を賄えなくなりつつある介護保険を使いこなしながら、今後も福祉の駆け込み寺として様々な相談を受け、24時間地域を支えます。『ぐる一ふ藤』の原点である在宅生活を支えることを中心に、利用者とその家族を支援して行きます。

第1号議案

2011年度事業報告

1. 組織運営

福祉マンション「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」を開設してから5年目の今年も地元藤が岡の地に根づく活動ができました。大勢いる地元のスタッフの様々なご縁からどんぐり園はじめ地元自治会・学童保育・中学校などとの交流が頻繁に行われ、休日にはスタッフの子どもたちがボランティアとして来館することなどが定着してきました。

ぐるーぷ藤では、ホームヘルプを対人援助の基本と捉え、各部門のスタッフが在宅支援を経験することを方針として掲げていますが、今年度も多くのスタッフが部門を越えて活躍しました。

創立20周年を迎え20年間の活動の総括と継続を祝う式典が11月26日グランドホテル湘南において盛大に行われました。当日は会員・ご来賓の他にこれまで共に活動してきた藤の卒業生、ご利用者・ご家族、藤ファンの方々、賛助会員等の出席もあり、華やかな楽しい祝典になりました。

「認定NPO法」が制定され、藤は2012年4月認定NPOの申請をし今年中の取得をめざします。そのため一人3000円以上のご寄付を200人目標に集める活動をしました。その結果広く地域の方々に賛同と支援をいただき3月31日現在261名からご寄付をいただき、総額1,252,000円になりました。ぐるーぷ藤の20年間の活動が評価された証です。

運営については、年4回の理事会で予算をはじめ事業運営に関する重要事項の検討を行い、必要に応じて開催した代表者会議で随時新たな課題についての検討を重ねました。

内部理事及び各事業部門の代表で構成された運営会議を月1回開催し、理事会での決議を踏まえて各事業に関する諸事項の討議を行いました。月1回の運営報告会で全会員に対して運営状況の報告を行いました。事業の拡大に伴う新たな課題に対応しさらなる円滑な運営を図るため代表者会議と運営会議のありかたを検討しました。その結果社会的に解りにくかった現在の「代表者」を「経営・運営責任を担う理事長・専務理事・常務理事」と明確にしました。一方新たな討議機関を設け、新たに役員会議と新運営会議を生み出しました。新運営会議は理事長を含む6名で実施することになりました。

5名の人選にあたっては民主的でひらかれた中から選出するために、現運営委員の中から指名委員を選びその中で選出方法を決め選び、それまでの運営会議を「部門代表会議」と改称することになりました。

部門ごとに会議や担当者ミーティングを随時持ち、それぞれの課題を解決し情報を共有するとともに、研修の場となるように努めました。また部門の枠を

こえた委員会活動やプロジェクトは、さまざまな形で会員が運営に参加する機会になりました。

2. 事業・活動部門

「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」を拠点にして地域に根ざしたさまざまな活動が出来ました。部門間の連携を密にし、ご利用者の多様なニーズにできるだけ柔軟に対応しました。

レストラン「オハナ」は、食事の場だけでなく地域の交流の場、憩いの場としても多くの方にご利用いただきました。ぐるーぷ藤のシンボルとしてゆっくりとくつろげるつどいの場として定着しました。

2-1 訪問介護事業（ホームヘルプ）

ご利用者に寄り添いその方らしく暮らしていただくために心のこもったホームヘルプサービスで在宅生活を支えました。

本来事業ではご利用者やご家族のさまざまなニーズに対応し、特に産前産後に毎日対応する子育て支援はご利用者にとっても喜ばれ、ホームヘルプの素晴らしさを実感しました。

介護保険事業ではケアマネジャーだけでなく地域包括支援センターからの依頼も積極的に受け活動範囲が藤が岡から大きく広がりました。そして終末期に必要なとされる見守りのケアでは医療との連携を図りご利用者とそのご家族の支えにもなりました。

障がい者自立支援事業では精神障がい者や障がい児ケアのニーズが増え、行政や相談事業所と連携を取りより良いケアを目指しました。本年度も医療的ケアの危険性や法令をよく理解し、安全に行えるよう努めることで2件の痰の吸引を伴うケアを継続しました。24時間対応のご家族の介護負担を軽減することができ、とても喜ばれています。

事業所加算Ⅱを取得した事業所として昨年に引き続き困難なケースにも積極的に対応し、多様な利用依頼に出来る限りこたえました。対人援助の基本である訪問介護の介護力アップの為、毎月の会議等でさまざまな研修を行い、日々ヘルパーの技術向上を目指して努力しました。

2-2 通所介護事業（デイハウス藤の花・デイハウス菜の花）

◇デイハウス藤の花

藤の花は10年目を迎え、ご本人のケアはもちろんご家族の支援に努めました。今年度より月に1回の家族相談日を設け、ご家族の気持ちに寄り添い悩みにもきめ細かく対応することができました。また今年の家族会は参加人数も大幅に増え、介護への関心の高さを実感しました。おむつのあて方など家族のニーズに応えた介護講習会を行い大変好評を得ることができ、ご家族同士の交流

を深める場となりました。

自然豊かな庭を利用し、季節を肌で感じながらの五感のリハビリや歩行訓練ができ、ゲスト自ら個別機能訓練に積極的に参加されるようになりました。スタッフにおいても内部・外部の研修に進んで参加することにより、スキルもアップし新リーダーの台頭が認められました。藤の花は困難事例に対応できるデイサービスとの評価を受け、ケアマネジャーからの利用依頼も増えました。

◇デイハウス菜の花

菜の花はゲスト一人ひとりに合わせた個別機能訓練の他に、曜日ごとに取り入れた全員が楽しみながら集団機能訓練をおこなっています。集団で行なうことでゲストの意欲が高まり良い成果を上げています。12月の家族会では、ゲストと共に立案創作した手の込んだ作品などを展示し、機能訓練の指運動と一緒に体験したり介護講習会を行い車椅子の使い方や移乗方法の実践も好評でした。菜の花は6年目となり着実に地域に定着し、地域包括支援センター・ケアマネジャーなどからの紹介で多くの利用につながりました。

2-3 居宅介護支援（ぐるーぷ藤ケアマネジメント）

地域の利用者に対しきめ細かいアセスメントを行い、自立支援を目標にした公正中立なケアプランを作成しました。利用者の状況の変化や、サービスが適切に行われているか定期的にモニタリングを行いました。

地域の福祉の窓口として、近隣にお住まいの孤立した高齢者の情報を地域包括支援センターや民生委員に連絡し、協力を仰ぎながら相談にのっていくケースもありました。

認知症高齢者の支援については際立った解決策が無いなかで、急速な認知症の進行状況や周辺症状により、適切なサービスが見つからない等の、課題を残したケースもありました。ご本人の具体的な認知症の症状やご家族のご苦労など正確に医療機関に伝達し、認知症高齢者の在宅での生活実態を理解して頂くよう努めるなど医療との連携の重要性が増しています。今年度は緊急の入退院の事例が多く、退院後の生活に支障が無いようにプランの見直しを迅速に行いました。

事業所加算要件を満たす事業所として週1回の話し合いの場を持ち、事例検討や新しい情報の共有化を図りました。新年度の介護保険法の改正にも適切に対応できるよう学習し、ケアマネジメントの質の向上をめざしました。

2-4 小規模多機能型居宅介護（しがらきの湯）

「通い」「泊まり」「訪問」を組み合わせ、ご利用者・ご家族にとって柔軟な対応で住み慣れた自宅での生活の継続を支援しました。小規模多機能居宅介護の良さが広く理解されるようになり、藤沢地域だけでなく他の地域からも多くの問い合わせや見学がありました。

体調の重症化したご利用者の希望により、訪問診療、訪問介護と連携し看取りの体制を整え、安心して最期を迎えられるようチームとしてケアにあたりました。

お祭りやふれあい喫茶、新年会などの自治会活動に参加するだけでなく、一年間に30回を超える地域のボランティアが来てくださいました。ご利用者家族の方々も日本舞踊、フラダンス、ピアノ演奏、合気道などを披露してくださいました。

運営推進会議は回数を増やし、二か月に1回開催しました。ご家族、自治会、民生委員、地域包括支援センター、藤沢市介護保険課と情報交換や事例検討などを行い、看取りの場でもその連携が役立ちました。また地域包括支援センターと連携し地域の方々の認知症の理解を深めるために「認知症サポーター養成講座」を行いました。

開所以来初めての家族会を開催しました。悩みをスタッフに相談したり、ご家族同士が連絡先を交換し合ったり、「顔の見える関係」作りの第一歩となりました。

2-5 訪問看護（訪問看護ぐる一ふ藤）

二年目に入り、住み慣れた家で安心して暮らしていたいというご利用者の思いを大切に、予防的看護から医師の指示による医療的処置まで様々なサービスを提供しました。主治医との連携を図り、ご利用者の状態変化の早期発見に努め迅速に対応していくとともに、ご家族への精神的援助を行いました。自宅で最期を迎えたいという独居の利用者のケースでは、医師はじめケアマネジャー、ヘルパーとの連携を密にし希望通りの看取りをすることができました。また医師からの特別指示書の出たケースではすぐに対応し、2週間の連続訪問での確な処置を行いました。緊急時訪問看護加算体制をとったことではやく対応することができました。

精神疾患を持つ利用者の依頼に対応し、1月には自立支援医療（精神通院医療）の指定をとり訪問することで安定した生活を送られています。

また、ステーションに看護師が常駐していることにより、職員の日々の健康相談や急病にも対応でき喜ばれています。

2-6 精神障がいグループホーム（藤が岡の家）

障害を持ちながらも地域の中で安心して暮らせる場を提供することをめざして支援してきました。

生活経験の少なさにより人に迷惑をかけたり荒い言葉が出たりと、あちこちにぶつかることもありました。しかし日常生活の中でこれまでできなかったことができるようになり、毎年参加している地域のお祭りでは積極的に準備を楽しめるようになり、入居者それぞれの立場で生活の技術が向上してきました。

毎月恒例の食事会ではさまざまな年代のボランティアさんの参加を得て、自然な形で社会参加が出来ました。

複合施設の中にあることで、世話人だけでなく看護師はじめ多職種のスタッフとふれあい、声を掛け合う関係が定着し皆に助けられてこの3年間入居者の入れ替わり無く安定した生活が送れました。その中で医療機関をはじめデイケア、作業所、行政機関等とも連携をとりゆっくりとではありますが、入居者それぞれにあった自立した生活スタイルを模索しています。

2-7 高齢者住宅（ぐるーぷ藤一番館）

開設以来「終の棲家」としておもてなしの心を大切にし、お住まいの方にその方らしく安心して楽しく暮らしていただけるよう努めました。看護師による個別の健康相談を充実させ、健康診断や訪問診療を通し主治医とのコミュニケーションを密にし、入退院後の生活を不安なく送っていただけるよう対応してきました。また、必要に応じて介護保険によるデイサービス・ホームヘルプの利用などをアドバイスし、一番館サービスとの組み合わせを考えケアを行なってきました。3・4階それぞれリビングに集い会話を弾ませ一緒におやつ作りやお習字をしたりと毎日笑顔が途切れる事がないよう配慮しました。

年間行事を組み外出をすることで季節感を肌で味わっていただいておりますが、年々遠出が難しくなっています。今年初めての試みとして、店カウンターで召し上がっているような雰囲気を感じていただくために一番館でにぎり寿司を実演してもらいました。非常に好評で普段ソフト食の方にもにぎり寿司をいくつも召し上がることができました。

お住まいの皆さまの高齢化とともにご家族の年齢も高くなっており、ご家族の相談に応じ精神的な支えになるよう援助しました。

今年度、スプリンクラーを設置し設備内容を充実させスタッフへの防災意識も高めました。

2-8 厨房及びレストラン（オハナ）

厨房では管理栄養士を配置し、食事のバランス・彩りを考えたメニュー作りを心がけ、お住まいの方、しがらきの湯を利用されている方々の急な体調変化や要望に迅速に対応しました。中でもソフト食は大変好評で味付け・彩り・盛付けがとても改良され召し上がっている方々の食欲も増し、お元気になられています。

一方食材費が年々増大し様々な策を講じてきましたが、質を低下させずに対応することは難しく次年度への大きな課題となりました。

レストラン「オハナ」は施設のシンボルとして寛いでいただける雰囲気作りに努め、チャイルドチェアを新たに4脚購入し、子ども連れのお客様が安心して過ごしていただけるようにしました。メディアに取り上げられ、ご近所から

のお弁当の注文も多く、地域に根ざしたレストランとして、ぐる一歩藤の応接間の役割を果たしました。

2-9 総合相談窓口

総合相談窓口では看護師・介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・ケアマネジャーが常駐し、地域の駆け込み寺として福祉・医療に関するあらゆる相談に24時間応じています。近所にお住まいの青年が夜不安になり駆け込んで来られた時も、スタッフが会議を中座してじっくり話を聞く等対応したことで、青年も落ち着き帰って行かれました。

長年の経験を生かし緊急のSOSに対応するとともに、地域においては権利擁護の観点に立ち、弁護士・民生委員・地域包括支援センター等に橋渡しをするNPO版地域包括支援センターの役割を担っていると自負しています。

3. 管理部門

ぐる一歩藤総体の事務局として管理運営に責任をもち、効率的に業務を遂行できるよう努めました。また労働基準法をはじめとする法令遵守を徹底しました。各部門の請求業務、官公庁への各種届出、他団体や業者との折衝を確実に遂行しました。予算の執行にあたっては、無駄を省き経費節減に努めました。特に節電には力を入れ空調機のデマンド制御を実施するとともに電気ポットの使用をやめ、こまめにスイッチを切ることなどで、一番館で20%以上の節電ができました。毎月点検に来る電気管理技術者には同規模の福祉施設に比べ10%以上節電できていると評価されています。また増え続ける書類の安全管理のためレンタルボックスを借りるなど、倉庫スペースの有効活用を実施しました。火災・震災等の予防及び安全確保のため、消防計画に基づき消防署立会いのもと年2回防災訓練を行ないました。また館内の消防用設備の点検を強化し高齢者住宅にスプリンクラーを設置しました。昨年3月11日の東日本大震災を教訓に電池、ローソク、食料品等を備蓄しました。

事業の拡大によって増加する個人情報の保護には配慮し特にFAXの送受信には注意しました。

3-1 会員（メンバー）と福利厚生

今年度も募集をしない中でメンバーの紹介により福祉のまちづくりという理念に賛同する仲間が8名増え、現在会員は132名となりました。それぞれのメンバーの資格や能力を生かして皆が生きいきと働ける多様な職場づくりをめざし、自己実現の場をつくりました。また次世代育成法の改正により義務付けられた一般事業主行動計画に基づき、子育て支援を進め働きやすい環境作りを行いました。昨年度から奨励している有給休暇の取得はさらに増え対象者（113名）の85%のメンバーが取得しました。この制度の確立によりメン

バーが安心して働ける環境づくりが進みメンバー同士の協力も増しました。

また今年度から永年勤続表彰規定が施行され、20周年記念式典で理事長以下16名のメンバーが表彰されました。長年の夢であった退職功労金についても何度も議論を重ね退職功労金規定を作成し、2012年度より施行の運びとなりました。

看護師が常駐している一番館では、スタッフが急に体調不良になった時には素早い対応で大事に至らずに済みました。

恒例の交流会では6月はイタリアンを堪能し10月には横浜キャッツシアターで観劇を楽しみました。一番館で行った新年会では厨房手作りの料理に舌鼓を打ち会員親子による剣舞、会員同士によるチェロとキーボードの演奏を楽しみました。

福祉関連有資格者（2012年3月現在・重複あり）

ホームヘルパー	1級：	3名
	2級：	101名
介護福祉士		48名
看護師		4名
准看護師		1名
ケアマネジャー		9名
精神保健福祉士		2名
社会福祉士		2名
社会福祉主事		1名
福祉住環境コーディネーター2級		2名
認知症ケア専門士		2名
学習療法士1級		1名
管理栄養士		1名
栄養士		2名
調理師		7名
鍼灸マッサージ師		1名
理・美容師		2名
キャラバンメイト		3名
普通救命講習I修了者		57名

3-2 広報活動

年4回発行している広報誌「花どけい」は毎号特集記事を組み、ご利用者やご家族の寄稿もいただくなど内容の充実を図りました。編集委員に新しいメンバーも加わり編集ソフトも十分使いこなす等スキルもアップしました。他団体からの評価も高く見学者や訪問者には資料として活用し広報の役割を果たしています。

今年度もぐる一ふ藤の活動は各方面から注目されました。見学希望者の関心はスタッフの働き方、研修内容、部門間の連携など運営に関するものが多いように思えました。見学の方からは「オハナ」の予約もいただきランチを絶賛され、「オハナ」の広報としての位置づけも定着しました。

また大学からの講義依頼や藤の理念や活動を直接話してほしいとの依頼は今年度も多数ありました。

見学希望に対してはお住まいの方のプライバシー保護を考慮し、月1回に制限させていただいており、現在1年先まで予約が入っています。

ホームページはアクセスしやすいサイトをめざし内容のバージョンアップに着手しました。

3-3 諸団体での役割

- ・ 市民福祉団体全国協議会 常務理事
- ・ 国家ビジョン研究会 委員
- ・ 藤沢市個人情報制度運営審議会 委員
- ・ 藤沢市小規模多機能型居宅介護事業所連絡会 副会長
- ・ 神奈川県小規模多機能型居宅介護事業所連絡会 副会長
- ・ NPO法人昴の会 理事

4. 研修プロジェクト

利用者の多様なニーズにきめ細かく対応できるよう、メンバーひとりひとりに対し各部門で個別研修プログラムを設定し、『理念と意思の共有』『スキルアップ』『これからの介護について』を学びの3本柱とし、系統的な研修を組み立ててきました。また研修に参加し自己研さんを重ねたメンバーを適切に評価できるシステムをつくり、藤全体のスキルアップを図ってきました。

理念の共有と継承のための「理事長と語る会」は、86名の参加を得ました。藤の生い立ち、藤の理念を理事長の講義で再確認できました。入会年度ごとに振り分けられた新旧のメンバーが、オハナのお弁当や飲み物をなかだちに和やかな雰囲気の中で、全員で想いを共有し有意義な研修となりました。

今年度は5回のスキルアップ研修を行い、新人スタッフを中心に延べ76名の会員が、日常的な基本介護技術の確認をすることが出来ました。また昨年度と同様介護保険事業所として必要な共通事項を運営報告会の中でミニ研修としてとり組みました。会員全体研修としては恒例の竹内佐智恵先生の介護講座「ボディメカニクスと最新の介護技術」は19回を数え、木村千尋先生の「心理学を生かした対人援助」はボランティアすみれとの共催で行いました。この眼科医による「公開医療講座」、藤沢地域包括支援センターとの共催「認知症サポーター養成講座」、藤沢南消防署の協力を得てAEDを使用した「救命救急講習会」を行い現場に役立てることができました。昨年に引き続き外部団体との共催研

修も行いました。

毎年行っているトップリーダー研修における今年度の海外研修は、市民福祉団体全国協議会主催のイギリス福祉研修に3名参加し福祉先進国の高齢者対策、NPO運営とボランティア精神に学ぶべきところが多数発見出来ました。

5. 役員報酬検討プロジェクト

民主的な事業運営の継続の為に3年ごとに行っているプロジェクトとして今年度も各部門の管理者・主任等が集まり検討を重ねました。

来年度は大幅な組織改革が行われる事となり、経営・運営責任を担う理事長、専務理事、常務理事を明確にしました。

5回の委員会を開催しぐる一ふ藤の代表である理事長の運営及び社会的責任、活動範囲はより拡大し、共に事業運営に当たる専務・常務理事の仕事内容も多岐に渡ることをメンバー全員が理解しました。そして組織運営を担う三役の責務の大きさ、重さをふまえながらもNPO法人としての社会的役割を勘案し、それぞれの責務に合わせて現時点での報酬を答申しました。

また前回付帯意見として答申した「就業規則の整備及び人材の確保・育成」は実施、整備出来ている事を確認しました。

6. 20周年実行委員会

今年度ぐる一ふ藤は20周年を迎えました。2年間かけて実行委員会を中心に準備し、11月26日にグランドホテル湘南にて式典・記念講演・祝賀会を実施しました。式典では来賓の挨拶の後、今年度から施行の永年勤続表彰を行いました。20年、15年、10年、5年勤続者を表彰し、20年勤続の理事長にはメンバー一同を代表して初代理事長より感謝状が贈られました。記念講演では樋口恵子氏を講師に招き「人生100年 全ての人に居場所と出番を」の内容でお話いただきました。祝賀会では全員参加でそれぞれが希望した出し物で集まり、仕事を終えた後熱心に練習した成果を遺憾なく発揮しました。どの出し物もチームワーク良く何より出演者も来賓も心から楽しみ、最後は全員で「栄光の架橋」の大合唱で感動的なフィナーレとなりました。

藤が歩んできた20年の歴史を盛り込んだ記念誌「花かご」の作成には、昨年度の委員に花どけいの編集委員と各部門からの新しい委員で取り組みました。また式典・講演・祝賀会の模様を記録しておくためにDVDを作成しました。

7. 二番館建設委員会

二番館計画は横浜銀行や門倉組の協力を得、ラフな設計まで着手しましたが建設予定地の区画割りや藤沢市の都市計画との関連もあり調整に時間がかかり、年度内着工はできませんでした。

この間、東海沖地震の予想が見直され関東地区の地震リスクも高まり、二番

館予定地が海辺に近く海拔七メートルと低地である事また定期借地であることも考え、災害に対する環境リスクを考慮しこの予定地に建設することを正式に断念しました。ひき続き、“福祉の街づくり”をめざし検討は進めます。

8. その他の活動

幼児教室どんぐり園、コンフォール藤沢自治会、ボランティアすみれ及び他団体と連携しながら地域に根ざした活動を行いました。今年度も地域で地道な活動をするNPOや障がい者団体等に「まちづくり対策費」を活用しそれぞれの活動を支援してきました。

今年度は東日本大震災の被災地に様々な支援を行いました。5月には男子高校生と大学生が宮城県の東松島市と亘理町のNPO施設に瓦礫撤去のボランティアに行きました。また同月からは毎月、高齢者施設を始めた仲間には買い物に不便であるということから日持ちがよくすぐ食べられる真空パックのシウマイを贈り続けています。7月には被災地で直接「すぐ欲しいもの」の声に耳を傾け自転車22台を贈りました。通学、買物にととても喜ばれました。

1月からは気仙沼の仮設住宅を中心に献身的に支援活動を行っている現地の方と有償ボランティア契約を結び活動費の一部の支援をはじめました。

南三陸特産のワカメの販売に協力するなど現地の方の現金収入につながる活動の支援を始めました。

また藤沢市の諸団体の委員、市民福祉団体全国協議会等での活動を通じて介護保険はじめ福祉に関して市民の立場に立った提案をしてきました。さらに各種講師等の機会を通して、ぐる一ふ藤の活動を広く紹介するとともに啓発活動を行ってきました。

◇講師

- ・ 05/18 「人生大学」(江戸川区)
- ・ 06/13 「地域連携と都市再生」(横浜国立大学)
- ・ 06/17 「団塊世代の『住まう』を考える」(日本老年社会学会)
- ・ 06/23 「起業家経営論」(横浜市立大学)
- ・ 07/21 「メトロポリタンアカデミー」(毎日新聞社)
- ・ 07/30 「湘南・江の島みらいセミナー」(神奈川県)
- ・ 09/27 「地域に根ざした福祉事業」(ISB 公共未来塾)
- ・ 10/25 「市民事業と福祉マンション」(立教大学)
- ・ 11/01 「ソーシャルビジネス」(産業能率大学)
- ・ 02/02 「災害時の備え」(かもめの会)

◇パネリスト

- ・ 10/01 「どう変わる介護保険」介護保険シンポジウム実行委員会

◇取材、見学等

- ・ 取 材 : 東海大学広報メディア学科、高齢者住宅新聞、TBS
フィルムアート社
動画「手話店員」(ろう者が社会参加しやすくするため手話店員
のいる店の情報を動画サイトで提供)
- ・ 見 学 : 27件 112人
- ・ テレビ放送 : 09/24 TBS「サタディずばっと！」
11/01 湘南ケーブル放送: 東海大学広報メディア学科制作
ドキュメンタリー「介護福祉の現場から見えるもの」
- ・ 雑誌掲載 : 「おひとりさまの終活」中澤まゆみ著(三省堂)
「通販生活 夏号」
「日経ビジネス」
「クリエイティブ・コミュニティ・デザイン」
「Design for Aging」by Emi Kiyota PhD (John Wiley & Sons, Inc)

2011年度 全体研修・部門別研修

		月 日	名 称		
全体研修	内部研修	通年	新入会研修		
		6月18日	木村千尋先生の「心理学を生かした対人援助」		
		7月9日	法令遵守・倫理規定・個人情報保護について		
		7月16日	救命救急研修		
		8月13日	せっけん講座「せっけんの優位性について」		
		8月20日	第19回竹内先生の介護講座		
		9月4日	公開医療講座「知っ得眼科」		
		9月10日	プライバシー保護についての取り組み		
		9月29日～12月1日(5回)	理事長と語る会		
		10月8日	接遇研修		
		12月5日～1月27日(5回)	スキルアップ研修		
		11月15日	認知症サポーター養成講座		
		2月11日	せっけん講座「せっけんを使おう」		
		3月16日	精神保健講座「藤沢病院の認知症への取り組みと在宅精神障害者支援」		
		2月16日～28日(5回)	介護福祉士国家試験実技対策講座		
		2月19日	湘南改造家・ぐるーぷ藤共催「元気になる介護教室—移乗用福祉用具に触れてみる」		
		外部研修	5月12日	精神保健福祉公開講座「統合失調症とそのリハビリ」	
			6月17日	藤沢市在宅医療研究会主催「認知症と薬について」	
	9月8日		「部下(介護、看護師)のストレスマネジメント」		
	9月8日		23年度難病患者等ホームヘルパー養成研修		
	9月26日		かながわNPO連絡会主催「NPO法改正 & 新寄付税制を学ぶ地域学習会INかながわ」		
	10月8日		藤沢市介護保険事業所連絡会主催「脳を知り認知症を予防する」		
	10月9～16日		トップリーダー海外研修「イギリス」		
	11月3～6日		海外視察研修「上海」		
	1月20日		事業所連絡会・ケアマネ連絡会合同研修「介護保険最新情報」		
	1月21日		成年後見制度の理解を深めませんか		
	2月10、11日		2012市民教研修会in愛知「介護保険制度改正とサービスの質の向上」		
	2月20日		NPO渋谷介護サポートセンター主催「介護報酬改定」		
	2月20日		市民福祉団体協議会研修「介護事業所の部門責任者育成研修」		
	部門別研修		ぐるーぷ藤ホームヘルプ	4月～3月(12回)	ヘルパー会議研修
				4月11日	スキルアップ研修
		5月16日		介護保険指定事業者集団指導講習会	
		5月24日		藤沢市ひとり親家庭日常生活支援事業研修	
6月25日、7月30日		スキルアップ研修(痰の吸引)			
10月5、12日		精神障害者ホームヘルパー現任研修			
10月18日		ノロウイルス等感染症研修			
1月18日		サービス提供責任者スキルアップ研修			
2月9日		認知症医療とその対応			

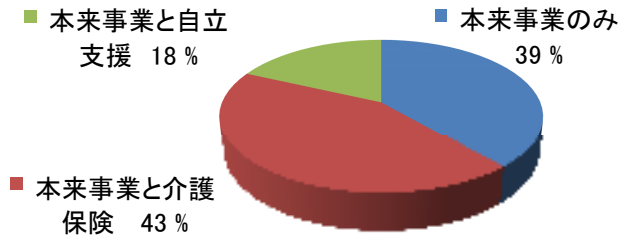
		月 日	名 称
部門別研修	デイハウス 藤の花・菜の花	4月～3月(11回)	スタッフ会議研修
		5月16日	H23年度通所介護事業者等集団指導講習会
		7月3日	津波対策学習会
		7月20日	感染症研修会
		7月22日	H23年度指定地域密着型サービス事業者等集団指導講習会
		7月30日	介護技術スキルアップ研修(痰の吸引)
		10月14日	ノロウイルス等感染症研修会
		11月8日	摂食・嚥下機能支援研修会
		10月25日～12月14日	認知症介護実践者研修
		12月20日,21日	認知症対応型サービス事業者管理者研修
		ぐるーぷ ケアマネジメント	4月～3月(12回)
	4月20日		聖テレジアオープンセミナー「認知症について」「医療連携について」
	5月14日		がん診療連携拠点病院における地域連携の頑丈と課題
	5月16日		介護保険指定事業者集団指導講習会
	5月17日		湘南ライフタウン診療所主催「在宅や施設で提供できるリハビリテーション」
	5月30日		服部メディカル研究所主催「介護保険改正と今後の動向」
	6月15日		湘南ライフタウン診療所主催「認知症の症状と治療について」
	6月17日		藤沢市在宅医療研究会主催「認知症と薬」
	7月4日		聖テレジアオープンセミナー「脳血管障害」「高次脳機能障害」
	7月25日		施設見学「機能訓練型デイサービス」
	8月9日		聖テレジアオープンセミナー「神経疾患について・低栄養予防は介護予防」
	8月22日		施設見学「住宅型有料ホーム」
	9月5日		服部メディカル研究所主催「介護保険制度の動向、地域ケアとケアマネジメント」
	9月20日		聖テレジアオープンセミナー「セラピューティックレクリエーション」
	9月27日		ケアマネ連絡会主催「認定調査票の過去14日間に受けた医療について」
	10月21日		ケアマネ連絡会・地域包括支援センター主催「食の支援に向けたケアマネジメント」
	11月1日		ケアマネ連絡会主催「癌(ターミナル)の事例を通して」
	11月17日		ケアマネ連絡会主催「退院時の連携の在り方」
	12月3日		ターミナルがん患者の療養先はどこへ
	12月14日		聖テレジアオープンセミナー「パーキンソン病について」「訪問看護の役割」
	1月18日		ケアマネ連絡会主催管理者研修「管理者の責務を確認」
	1月31日	服部メディカル研究所主催「介護保険と報酬改定」	
2月14日	アヴィラージュ茅ヶ崎主催「介護保険制度改正、報酬改定のポイント」		
2月15日	聖テレジアオープンセミナー「褥瘡について」「放射線検査について」		
2月26日	県介護支援専門員協会主催「制度改正と介護支援専門員の役割」(東日本大震災と神奈川の防災、介護支援専門員の役割)		
3月29日	市介護保険課主催「介護報酬等の制度改正について」		

		月 日	名 称
部門別研修	しがらきの湯	4月～3月(12回)	スタッフ会議研修
		4/19、7/29、10/31、2/15	神奈川県小規模連絡会研修
		6月20日	聖テレジアオープンセミナー「認知症について、嚥下障害とリハビリテーション」
		10月14日	感染症研修
		2月7,8日	管理者研修
	訪問看護 ぐるーぷ藤	4月～3月(7回)	訪問看護ミーティング研修
		4月23日	西湘地区訪問看護ステーション連絡協議会「災害時の地域における対応」
		5月14日	湘南中央病院「がん診療連携拠点病院における地域連携の現状と課題」
		6月17日	第3回藤沢在宅医療研究会「認知症と薬について」
		6月18日	西湘地区訪問看護ステーション連絡協議会「ケアマネジャーと訪問看護ステーションの連携を考える」
		7月22日	市民病院地域がん診療連携拠点病院5大がん講演会「乳がんの治療について」
		7月27日	第4回療養病床懇話会講演会「傷の正しい治し方」
		7月27日	市民病院 ストーマ講習会「合併症発生時の観察、ケア方法について」
		9月8日	第4回藤沢フットケア研究会
		10月2日	全国訪問看護事業協会「在宅において、痰の吸引などを介護職員が行う際の看護職と介護職の連携・協働」
		10月14日	第6回藤沢褥瘡研究会「目からウロコの明日から役立つ褥瘡アセスメント」
		10月22日	県訪問看護ステーション連絡協議会「訪問看護を中心とした在宅ケアをイメージする」
		10月29日	県訪問看護ステーション連絡協議会 中堅リーダー研修 1
		11月5日	県訪問看護ステーション連絡協議会初任管理者研修「人を動かすための表現を学ぶ」
		11月9日	県訪問看護ステーション連絡協議会 中堅リーダー研修 2
		11月16日	聖テレジア病院オープンセミナー「リハビリQ&A」
		11月18日	市民病院 緩和ケア勉強会 「疼痛コントロール」
		12月3日	県訪問看護ステーション連絡協議会 「マニュアル活用管理者研修会」
		12月13日	市民病院 褥瘡対策勉強会 「ポジショニング、体交、移動のコツ」
		1月18日	市民病院 褥瘡対策勉強会 「褥瘡治療編」
	2月17日	市民病院 緩和ケア勉強会 「消化器症状のマネジメント」	
	藤が岡の家	7月7日	精神保健福祉公開講座「引きこもりについて知っていますか」
		9月14日	神奈川県障害福祉サービス事業者等説明会
		3月7日	障害者地域自立支援協議会主催「GH/CH職員研修会」
	厨房	4月～3月(6回)	スタッフ会議研修
		6月2日、9日	藤沢市保健所主催「食品衛生責任者講習会」
		2月22,23日	日本給食サービス協会主催「フードケータリングショー、厨房設備機器展」
	事務	4月～3月(7回)	スタッフ会議研修
		9月26日	NPO法改正 & 新寄付税制を学ぶ地域学習会inかながわ

ご利用者 分布

(2012年1月)

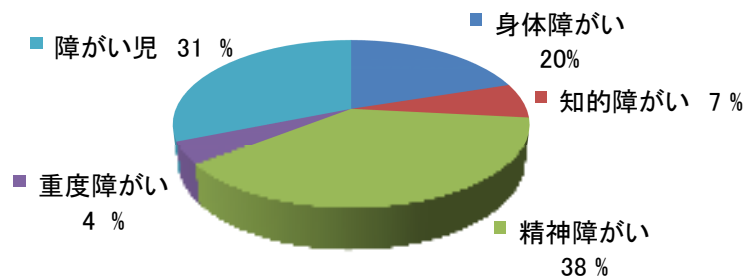
訪問介護（本来事業）



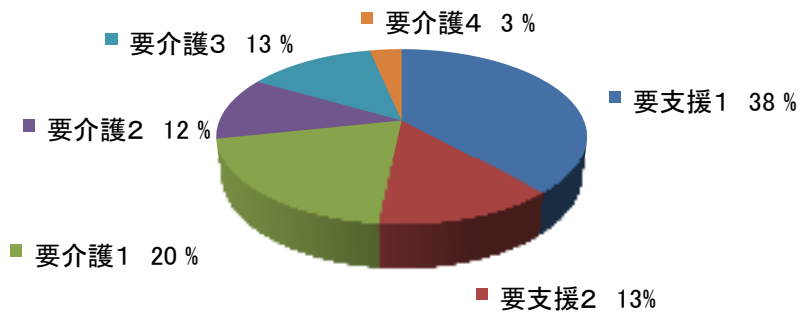
年齢	%
20歳以下	0%
30歳代	9%
40歳代	5%
50歳代	9%
60歳代	9%
70歳代	18%
80歳代	39%
90歳代	11%

訪問介護（障がい者自立支援）

年齢	%
児童	30%
10歳代	2%
20歳代	2%
30歳代	15%
40歳代	25%
50歳代	15%
60歳代	11%



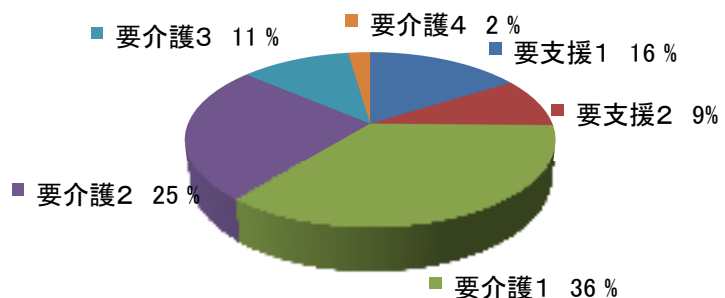
訪問介護（介護保険）



年齢	%
40歳代	2%
50歳代	2%
60歳代	5%
70歳代	32%
80歳代	43%
90歳代	17%

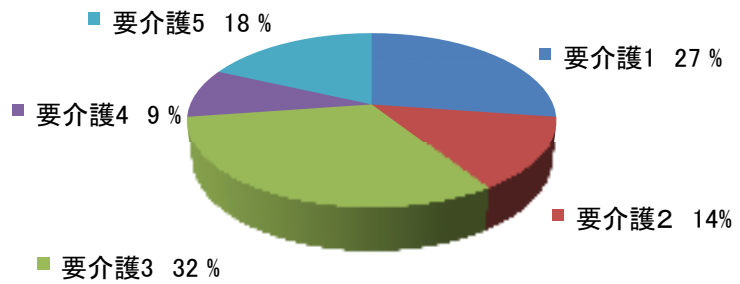
居宅介護支援

年齢	%
40歳代	1%
50歳代	1%
60歳代	3%
70歳代	28%
80歳代	52%
90歳代	15%

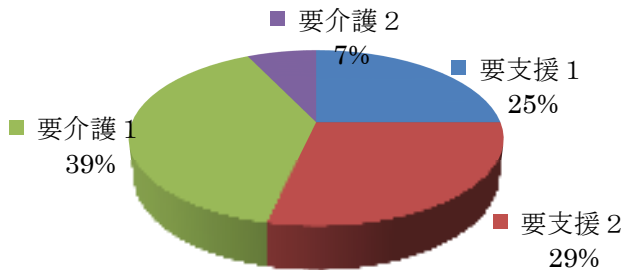


小規模多機能型居宅介護(しがらきの湯)

年齢	%
60歳代	0%
70歳代	9%
80歳代	45%
90歳代	45%



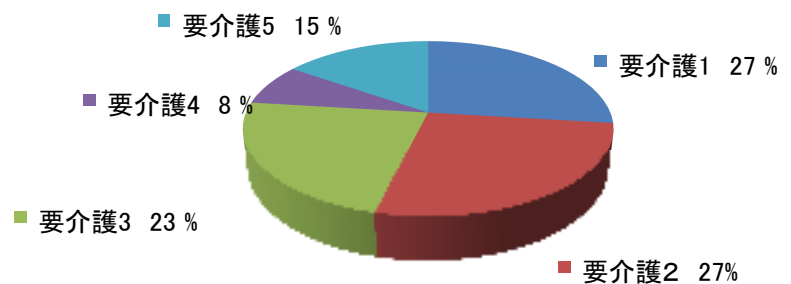
予防通所介護(デイハウス菜の花)



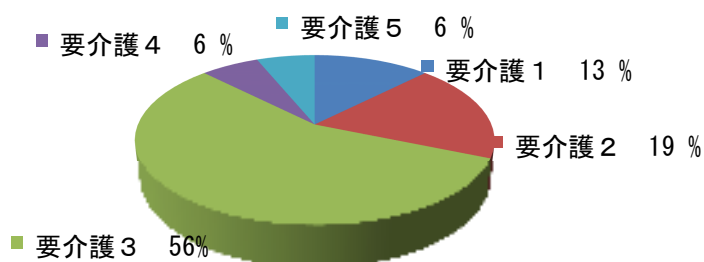
年齢	%
60歳代	0%
70歳代	11%
80歳代	64%
90歳代	25%

通所介護(デイハウス藤の花・カルチャー)

年齢	%
60歳代	12%
70歳代	8%
80歳代	50%
90歳代	31%

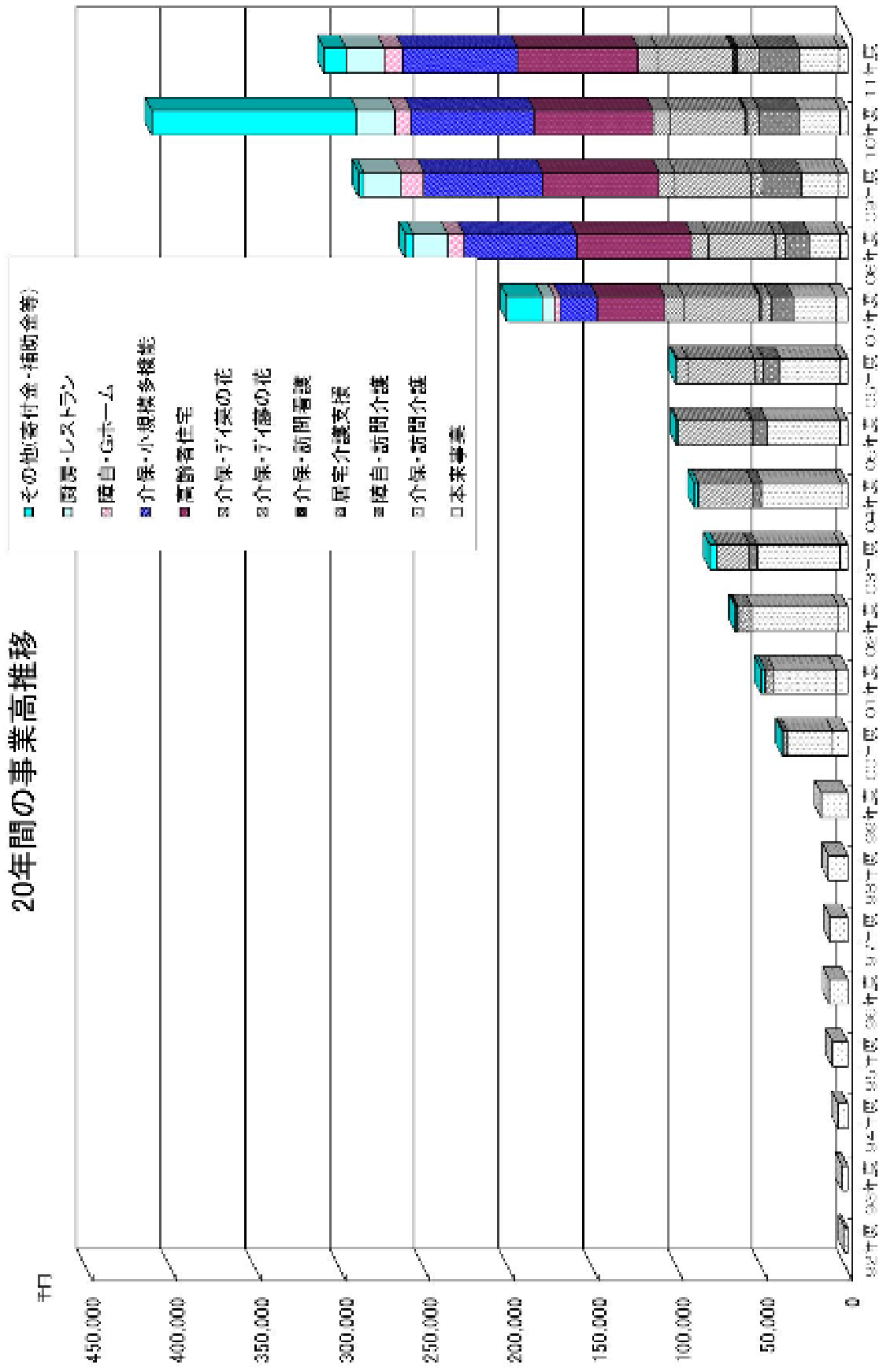


通所介護(デイハウス藤の花・認知)



年齢	%
60歳代	0%
70歳代	19%
80歳代	56%
90歳代	25%

20年間の事業高推移



第2号議案 2011年度 決算報告及び監査報告

2011年度 活動計算書(特定非営利活動に係る事業)

2011年4月1日から2012年3月31日まで

科 目	金 額	(税込、単位：円)
I 経常収益		
1 入金収入		
さわ会 員 入 会 金	17,000	
正会 員 入 会 金	7,000	
賛助会 員 入 会 金	5,000	29,000
2 会費収入		
さわ会 員 年 会 費	88,000	
藤会 員 年 会 費	10,000	
賛助会 員 年 会 費	25,000	123,000
3 事業収入		296,992,474
4 補助金等収入		6,465,000
5 寄付金収入		3,910,900
6 雑収入		
受 取 利 息	19,536	
雑 収 益 入	2,585,469	2,605,005
経 常 収 益 計		310,125,379
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給 料 手 当 等	184,110,709	
法 定 福 利 費 計	16,643,517	
人 件 費	200,754,226	
(2) その他経費		
デ イ 食 材 費	14,578,397	
事 業 費 交 通 費	5,243,030	
消 耗 品 費	1,963,215	
修 繕 費	1,175,951	
印 刷 製 本 費	608,572	
什 器 備 品 費	1,056,536	
光 熱 水 道 費	7,196,559	
賃 借 料 費	6,306,880	
保 険 料 費	157,400	
通 信 費	1,082,803	
研 修 費	140,411	
会 議 費	3,890	
租 税 公 課 費	935,700	
減 価 償 却 費	15,528,219	
燃 料 費	1,004,680	
ま ち づ く り 対 策 費	650,107	
支 払 手 数 料 費	43,200	
支 払 手 数 料 費	247,117	
支 払 手 数 料 費	1,864,928	
支 払 手 数 料 費	9,422,862	
支 払 手 数 料 費	69,210,457	
支 払 手 数 料 費		269,964,683
2 管理費		
福 利 生 費	2,510,583	
会 議 交 通 費	1,037,656	
旅 行 交 通 費	1,055,760	
通 信 費	907,193	
什 器 備 品 費	1,608,719	
消 耗 品 費	1,959,067	
修 繕 費	425,284	
印 刷 製 本 費	1,534,714	
燃 料 水 道 費	17,568	
光 熱 水 道 費	806,497	
賃 借 料 費	2,463,070	
保 険 料 費	11,392,238	
諸 謝 金 費	1,534,618	
研 修 費	1,834,130	
二 番 館 準 備 費	330,930	
租 税 公 課 費	1,520,600	
寄 付 金 費	1,472,000	
管 理 諸 費	2,861,098	
支 払 手 数 料 費	290,398	
支 払 手 数 料 費	172,000	
支 払 手 数 料 費	2,713,498	
支 払 手 数 料 費		38,447,621
支 払 手 数 料 費		308,412,304
支 払 手 数 料 費		1,713,075
支 払 手 数 料 費		1,713,075
支 払 手 数 料 費		156,591,597
支 払 手 数 料 費		158,304,672
当期経常増減額		
当期正味財産増減額		
前期繰越正味財産額		
次期繰越正味財産額		

2011年度貸借対照表(特定非営利活動に係る事業会計)

2012年3月31日現在

(単位:円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現 金	1,244,083		
普 通 預 金	92,635,831		
貯 蔵 品	414,711		
未 収 金	35,432,424		
前 払 金	2,478,350		
仮 払 金	1,275,140		
流動資産合計		133,480,539	
2 固定資産			
有形固定資産			
建 物	309,155,167		
建 物 附 属 設 備	13,251,460		
構 築 物	1,557,312		
車 両 運 搬 具	1,438,269		
什 器 備 品	2,174,148		
土 地	166,519,448		
有形固定資産合計	494,095,804		
無形固定資産			
電 話 加 入 権	180,600		
ソ フ ト ウ ェ ア	54,084		
無形固定資産合計	234,684		
投資等			
敷 金	45,000		
保 証 金	77,000		
投資等合計	122,000		
固定資産合計		494,452,488	
資 産 合 計			627,933,027
II 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金	20,390,517		
前 受 金	55,372,609		
預 り 金	12,047,339		
仮 受 金	1,890		
流動負債合計		87,812,355	
2 固定負債			
長 期 借 入 金	381,816,000		
固定負債合計		381,816,000	
負 債 合 計			469,628,355
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		156,591,597	
当期正味財産増減額		1,713,075	
正味財産合計			158,304,672
負債及び正味財産合計			627,933,027

2011年度 財産目録
2012年3月31日現在

(単位：円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現 金	現金手許有高	1,244,083	
普 通 預 金	横浜銀行 中央支店4口座	92,635,831	
未 収 金	利用料等	35,432,424	
貯 蔵 品	ユニホーム、書籍等	414,711	
前 払 費 用	前払保険料、リサイクル預託金	2,478,350	
仮 払 金	ソフト開発費手付	1,275,140	
	流 動 資 産 合 計		133,480,539
2 固定資産			
建 物	一番館 藤が岡	309,155,167	
建物附属設備	電気設備等	13,251,460	
構 築 物	藤の花外構工事	1,557,312	
車 両 運 搬 具	ワゴン2台、日産セレナ、トヨタ7	1,438,269	
什 器 備 品	ガス乾燥機、ソファ等他	2,174,148	
土 地	一番館 藤が岡	166,519,448	
	有 形 固 定 資 産 合 計		494,095,804
電 話 加 入 権		180,600	
ソ フ ト ウ ェ ア	一番館 ホームページ	54,084	
	無 形 固 定 資 産 合 計		234,684
敷 金	藤が岡 駐車場3台	45,000	
保 証 金	ガス保証金他	77,000	
	投 資 等 合 計		122,000
	固 定 資 産 合 計		494,452,488
	資 産 合 計		627,933,027
II 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金	3月分給料等 他	20,390,517	
前 受 金	一番館入居者入居金等	55,372,609	
預 り 金	一番館入居者等預り保証金	12,047,339	
仮 受 金	レストランかけ食事券2枚分	1,890	
	流 動 負 債 合 計		87,812,355
2 固定負債			
長 期 借 入 金	横浜銀行、ふじファント'借入	381,816,000	
	固 定 負 債 合 計		381,816,000
	負 債 合 計		469,628,355
正 味 財 産			158,304,672

監査報告書

NPO法人ぐるーぶ藤
理事長 鷲尾 公子殿

下記の通り監査を実施いたしましたので、ご報告いたします。

記

- ・ 監査実施日 2012年5月14日
- ・ 立会人 理事長 鷲尾 公子、事務局長 吉村さえ子、財務担当 富田 信美
- ・ 監査対象期間 2011年4月1日～2012年3月31日
- ・ 監査方法 実査及び立会人からの聞き取り

1. 会計監査

- ・ 諸伝票、預金通帳、現金、証憑書類並びに活動計算書、貸借対照表及び財産目録などについて実査した結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。各書類も整理され内容も理解しやすくだの部門にも努力が見られ、事業高も増えバランスの取れた活動収支に事業の安定が示されていることを高く評価いたします。(事務所内も整理・整頓されています)

2. 業務監査

理事長 鷲尾 公子氏から2011年度事業に関する概況説明を受け、当該活動方針に沿って監査を実施しました。

- ・ 理事長から閉口一番二番館の建設を白紙に戻した無念さが語られました。地震災害のリスクを負うことは大きな負担となり、事業に多大な影響を及ぼすことは明らかです。この判断は適切と評価いたします。一方東日本大震災に際してはいち早く支援を行い、被災地のニーズに耳を傾けた直接の支援は現地の方々に喜ばれ、今も継続して支援を続けている活動に敬意を表します。
- ・ ぐるーぶ藤は創立20周年を迎えました。理念の軸を曲げず着実に地域に根ざして、福祉のまちづくりを実現していることを確信しました。常に一步先を行き自主運営を買っている確実な運営と実践は厚生労働省、国家ビジョン研究会で発言の機会を与えられ市民の声を国に届ける力となっていることを高く評価いたします。
- ・ 認定NPO法人申請のため広く寄付を募った結果261名から総額120万強が寄せられたことは外部からの評価の賜物と確信いたします。認定NPO取得後のぐるーぶ藤の更なる発展と、あわせて二番館の実現を期待いたします。

2012年5月14日

監事 土屋 律子



監事 藤澤 抱一



第3号議案

定款の改訂 別紙

第 4 号議案

役員改選について

定款第 11 条および 12 条による

報告

2012年度事業計画

I. 事業方針

(1) 基本方針

年老いても、障がいがあっても、病気になっても安心して暮らせる地域社会をつくるため、特定非営利活動法人として社会的責任を果たすとともに、市民相互の助け合いのまちづくりをめざします。

(2) 運営方針

1. 組織運営

NPO法人ぐるーぷ藤は、趣旨書および定款にもとづき事業を行います。

理事会の議決を経て事業と活動の方針について討議する運営会議を月1～3回行います。そこでまとめられた提案事項について、毎月開かれる部門代表会議で検討し、その後、全メンバーを対象に運営報告会を開催し活動を共有します。また、それぞれの部門会議において会員の意見交換を行いその内容を事業活動に反映させる等、民主的な運営をめざします。

昨年度も「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」の地元を中心に新しい仲間を迎えることができました。創設の理念を共有し継承することを大切にして、多様な働き方を実践していきます。ホームヘルプを対人援助の基本と捉え、各部門のスタッフが在宅支援を経験することをさらにすすめます。

今年度は「認定NPO法人」の取得申請を行います。取得に必要な要件である寄付は地域の方々よりいただきました。この寄付金は子育て支援サービスを充実させる等地域の方々に還元します。

藤が岡の地にしっかり根を張り各事業をさらに安定させるとともに、一番館運営により見えてきたニーズに対応するため「二番館」の建設準備をすすめます。

2. 事業・活動部門

利用者の多様なニーズにできるだけ柔軟に対応し、本来事業、介護保険事業（訪問介護・通所介護・居宅介護支援・小規模多機能型居宅介護）、障がい者自立支援事業（居宅介護・精神障がいグループホーム）、訪問看護事業、高齢者住宅事業を連携させ、より充実した福祉の実現をめざします。

「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」においては、NPO版地域包括支援センターと

しての位置づけで総合相談窓口をさらに充実させ、地域の安心を支える福祉拠点としての機能を果たします。レストラン「オハナ」では、食事の場だけでなく地域の交流の場・憩いの場としても多くの方にご利用いただけるような運営をめざします。

2-1 訪問介護（ぐるーぷ藤ホームヘルプ）

利用者に寄り添いその方らしく暮らしていただくために、心のこもったホームヘルプサービスで在宅生活を支えます。本来事業では利用者や家族のさまざまな希望やニーズに応え藤らしい訪問サービスを行います。事業所加算Ⅱを取得した事業所として介護保険事業、障害者自立支援事業では、困難なケースにも積極的に対応し、他職種との連携を図りながら多様な利用依頼に出来る限りこたえることができるように努力していきます。また近年増えてきている医療依存度の高い方の在宅支援に対し、さまざまな研修を充実させ医療的ケアに対応できるヘルパーを育て、対人援助の基本である訪問介護の介護力の向上に努めます。

2-2 通所介護（デイハウス藤の花・デイハウス菜の花）

デイハウス藤の花では、カルチャーデイと認知症対応型デイの二つのサービスを展開することにより、ゲスト一人ひとりに合ったきめ細かいサービスを提供いたします。今年度は介護福祉士の配置を充実させ、更に質の高い介護技術でゲストの機能維持をめざします。認知症対応型デイでは日常生活動作を取り入れた生活リハビリを中心に一日でも長く在宅生活が出来るよう支援していきます。カルチャーデイでは時間延長をすることによりゆったりとした雰囲気の中で野菜をまるごと使った手作りスープを提供し、心と体の内側から元気になっていただきます。

デイハウス菜の花は、かねてよりゲストの皆様から時間延長のご希望がありました。今年度より1時間延長します。個別・集団機能訓練にも時間をかけ、多彩なカルチャーを展開して介護予防に努めます。

3種類のデイを行うことで個別に対応し、個性を大切にしたい居心地のよいデイサービスをめざします。

2-3 居宅介護支援（ぐるーぷ藤ケアマネジメント）

2025年の急速な高齢化をふまえて医療保険と介護保険の大幅な制度改革がありました。できるだけ在宅での生活が続けられるよう、以前にも増して医療・看護・介護の連携が重要となっています。

介護保険制度の詳細な制度理解はもちろんの事、趣旨を十分に理解し、常に変化する知識や技術を活用しながら、本当に必要な支援は何かを考えてケアマ

ネジメントを行っていきます。認知症高齢者の支援については、日常生活の状況を報告しながら医師との連携を進め、ご本人やご家族が孤立しないように支援していきます。

地域の福祉のコーディネーターとして、包括支援センターや民生委員と連携しながら近隣にお住まいの方々の相談に迅速に対応して行きます。

2-4 小規模多機能型居宅介護（しがらきの湯）

ご利用者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援に努めます。運営推進会議のメンバーとして利用者の多い地域包括支援センターを新しく加え、情報交換を密にすることにより在宅生活を支えています。

自治会、ボランティアの協力を得て地域との交流を深め、ご利用者が人と触れ合う機会を作り生活を楽しんでいただけるような環境づくりに努めます。

スタッフの定着率も高く、小規模多機能がめざす「なじみの関係」をより深めていきます。ご利用者それぞれにあった支援をするために経験を積んだスタッフがさらに研修を重ね、スキルアップをめざします。

昨年度好評でした家族会を今年度も開催し「顔の見える関係作り」を行っていきます。

2-5 訪問看護（訪問看護ぐる一ふ藤）

訪問看護ぐる一ふ藤は、住み慣れた家で安心して暮らしていたいというご利用者の思いを大切にし、予防的看護から医師の指示による医療的処置まで様々なサービスを提供します。主治医やケアマネジャー等在宅生活をする上での関係者との連携を密に図り、ご利用者の状態変化の早期発見に努め迅速に対応します。またご家族への精神的援助も行ない、必要時には緊急時対応もいたします。一番館にお住まいの方や働くスタッフの健康相談にも応じ、安心を提供して行きます。

2-6 精神障がいグループホーム（藤が岡の家）

複合施設の中にあるグループホームという特色を生かし、世話人を中心として日常生活をサポートするとともに、看護師始め他のスタッフの暖かい声かけや見守りを通して安心の暮らしを提供します。日常的に医療機関と連携をとり、病状の変化や生活習慣病等の体調管理の相談を行っていきます。また地域の作業所や行政機関・ハローワークなどの専門機関とも協力をしながら、それぞれの入居者にあった自立した生活、社会参加を実現できるよう支援します。

開所4年が過ぎた今もさまざまな相談や入所の申し込みがあり、障害を持ちながら安心して住み続けたいというニーズが多くあるため、障がいグループホームの新しい展開を模索して行きます。

2-7 高齢者住宅（ぐる一歩藤一番館）

「終の棲家」としておもてなしの心を大切にし、お住まいの方にその方らしく心豊かに暮らしていただけるよう努めます。看護師による個別の健康相談や主治医との連携を図ることで安心した生活を送ると共に、介護保険と一番館サービスを組み合わせさまざまなニーズに対応します。

ご家族とのつながりを大切にし、運営懇談会など対話を多く持ち精神的なサポートも行っています。地域と連携し季節感のある行事を行い自らの社会参加意識を忘れないよう支援しながら、ケータリングなども取り入れ一年を通して楽しみを提供します。

急な災害時にいつでも対応できるように計画的に防災訓練を行いスタッフの防災意識をさらに高めていきます。

2-8 厨房及びレストラン（オハナ）

厨房では管理栄養士を配置し、一番館・藤が岡にお住まいの方々・しがらきの湯を利用されている方々の急な体調の変化に迅速に対応し、ソフト食・大盛り小盛り等さまざまな要望に応じていきます。また美味しく彩りよい食事を提供できるよう料理研修を随時行っていきます。

レストラン「オハナ」は、施設のシンボルとしてくつろいでいただける雰囲気づくりに努め、これからも地域の方の交流の場・憩いの場をめざします。またお弁当や惣菜等メンバーの食卓も含め多くのニーズに対応し、安全で美味しい食事を提供していきます。

今年度からはデイ藤の花への昼食・オリジナルスープも担当します。

2-9 総合相談窓口

総合相談窓口では看護師・介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・ケアマネジャーが常駐し、地域の駆け込み寺として福祉・医療に関するあらゆる相談に応じます。

長年の経験を生かし緊急のSOSに24時間対応するとともに、地域においては権利擁護の観点に立ち、弁護士・民生委員・地域包括支援センター等に橋渡しをするNPO版地域包括支援センターの役割を担います。

3. 管理部門

ぐる一歩藤総体の事務局として管理運営に責任をもち、効率的に業務を遂行できるよう努めます。各部門の請求業務、官公庁への各種届出、他団体や業者との折衝を確実に遂行します。

予算の執行にあたっては、人員配置・物品管理・水道光熱費すべてにおいて無駄を省き経費節減に配慮し、昨年同様節電に努めます。

火災・震災等の予防及び安全確保のため、消防計画に基づき年2回防災訓練を行なうとともに、緊急時に備え備蓄している電池、ローソク、食料品等の点検・補充を定期的に行います。また館内の消防用設備の点検も強化します。

事業の拡大によって増加する個人情報の保護にはなお一層配慮し、セキュリティーの管理に努めます。

3-1 会員（メンバー）と福利厚生

まちづくりの理念に賛同する仲間を増やします。それぞれのメンバーの資格や能力を生かして皆が生きいきと働ける多様な職場づくりをめざし自己実現の場をつくりまします。多くのメンバーが参加し親睦を深められる交流会の開催や心とからだの健康相談を継続するなど福利厚生の充実に努めます。また有給休暇の取得をさらに推進するとともに、退職功労金制度を実施します。

3-2 広報活動

地域に定着してきた広報誌「花どけい」はまちづくりの情報発信の媒体としてご利用者や見学者に資料として提供するなどさらに有効活用していきます。各部門のパンフレットは活動に合わせ改定していきます。またホームページはリニューアルをすることにより内容の充実をはかり、英語版のぐる一ふ藤の紹介を載せ外国人からのアクセスにも対応します。

4. 研修プロジェクト

利用する方のニーズを的確に把握し柔軟に対応するためには、メンバー一人ひとりに高度なスキルが要求されます。また日々の業務の中で各メンバーが目標に向かって自己実現を図ることが藤全体の介護の質を高めていくと考え、今年度も『理念と意思の共有』『スキルアップ』『新しい介護』を学びの3本柱として研修プロジェクトを引き続き設置します。

メンバー及び地域社会のニーズに合せ介護技術や幅広い知識の習得を目的に研修計画を策定するとともに、一人ひとりの経験やスキルに合わせた体系的・継続的な研修や部門ごとのタイムリーな研修を組み立てていきます。

さらに今年度も研修に積極的に参加したメンバーを評価していくシステムをつくっていきます。

トップリーダー養成研修として今年も海外研修を実施します。

5. 二番館建設

“福祉の街づくり”をめざし一番館と同様に地域の福祉拠点として、皆と繋がりながら自分らしく生きいきと暮らせる場や多様なメンバーがお互いに助け合って働く場を作り出すことを目的に二番館計画に着手します。

ぐる一ぶ藤の中期計画の達成と地域のニーズに答えるため、NPOらしい運営による二番館建設をめざします。また地域の中で市民事業の担うべき役割と、高齢者専用住宅・精神障害者グループホーム・デイサービス・小規模多機能・レストラン・たまり場・地域の人も使える会議室等、一番館運営で見えてきた課題を解決するための機能を取り込んだ二番館建設に取り組みます。

6. その他の活動

幼児教室どんぐり園、コンフォール藤沢自治会、ボランティアすみれ及び他団体と連携しながら地域に根ざした活動を行います。今年度も地域で地道な活動をするNPOや障がい者団体等に「まちづくり対策費」を活用しそれぞれの活動を支援していきます。また藤沢市の諸団体の委員、市民福祉団体全国協議会、国家ビジョン研究会等での活動を通じて介護保険はじめ福祉に関して市民の立場に立った提案をしていきます。さらに各種講師等の機会を通して、ぐる一ぶ藤の活動を広く紹介するとともに啓発活動を行います。

また市民福祉団体全国協議会主催の被災地で開催するパラソル喫茶へのボランティア派遣、買い物が不便で苦勞している気仙沼の仮設住宅の方々にも食料品を含めた物資等の支援を継続します。仮設住宅ではじめてNPO法人立ち上げにこぎつけた「みらい南三陸」には今後の運営に関するアドバイスを行うなど交流を深め、活動の様子を藤のホームページで紹介していきます。

今年度も見学者やメディアの取材には丁寧に対応していきます。

Ⅱ. 事業内容

1) 特定非営利活動に係る事業

(1) 家事、介護、育児等に関する生活支援サービスおよび相談事業

1. 通常事業

- ①内 容：高齢者、障がい者などの介護、家事援助および産後、育児等の生活支援および相談
- ②日 時：通年
- ③場 所：藤沢市およびその近接地域
- ④従事者人員：70名
- ⑤対 象 者：90名
- ⑥事 業 費：¥6,972,352

(2) 地域福祉の向上に向けた学習および研修、啓発を図る事業

1. 介護講座等

- ①内 容：介護講座
- ②日 時：7月、9月、11月
- ③場 所：ぐるーぷ藤一番館・藤が岡
- ④従事者人員：7名
- ⑤対 象 者：藤会員およびさわ会員、地域の方
- ⑥研 修 費：¥300,000

(3) 介護保険法にもとづく事業

1. 訪問介護事業

- ①内 容：介護保険対象者への訪問介護サービスの提供
- ②日 時：通年
- ③場 所：藤沢市域
- ④従事者人員：70名
- ⑤対 象 者：80名
- ⑥事 業 費：¥17,745,416

2. 訪問看護事業

- ①内 容：介護保険対象者への訪問看護サービスの提供
- ②日 時：通年
- ③場 所：藤沢市域
- ④従事者人員：4名
- ⑤対 象 者：45名
- ⑥事 業 費：¥10,398,513

3. 通所介護事業

- ①内 容：介護保険対象者への通所介護サービスの提供
- ②日 時：通年
- ③場 所：藤沢市域
- ④従事者人員：30名
- ⑤対 象 者：80名
- ⑥事 業 費：¥57,619,278

4. 居宅介護支援事業

- ①内 容：介護保険対象者への居宅介護支援サービスの提供
- ②日 時：通年
- ③場 所：藤沢市域
- ④従事者人員：5名
- ⑤対 象 者：80名
- ⑥事 業 費：¥17,442,784

5. 小規模多機能型居宅介護事業

- ①内 容：介護保険対象者に「通い」を中心として「泊まり」「訪問」を組み合わせたサービスを提供
- ②日 時：通年
- ③場 所：藤沢市域
- ④従事者人員：40名
- ⑤対 象 者：25名
- ⑥事 業 費：¥52,348,949

(4) 高齢者・障がい者等に対する居宅支援および施設サービス事業

1. 居宅支援サービス事業

- ①内 容：障がい者自立支援対象者への訪問介護サービスの提供
- ②日 時：通年
- ③場 所：藤沢市域
- ④従事者人員：70名
- ⑤対 象 者：60名
- ⑥事 業 費：¥22,139,702

2. 精神障がいグループホーム

- ①内 容：障がい者自立支援対象の精神障がい者へのグループホーム・ケアホームの提供
- ②日 時：通年
- ③場 所：藤沢市域
- ④従事者人員：4名
- ⑤対 象 者：6名
- ⑥事 業 費：¥8,846,585

3. 高齢者住宅

- ①内 容：高齢者に終の棲家としての住宅および生活支援サービスの提供
- ②日 時：通年
- ③場 所：藤沢市域
- ④従事者人員：30名
- ⑤対 象 者：21名
- ⑥事 業 費：¥55,955,709

(5) レストラン事業

1. レストラン事業

- ①内 容：福祉マンションで働くスタッフおよび近隣の方に開放するレストラン運営
- ②日 時：通年
- ③場 所：藤沢市域
- ④従事者人員：5名
- ⑤対 象 者：多数
- ⑥事 業 費：¥29,920,705

(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 総合相談センター

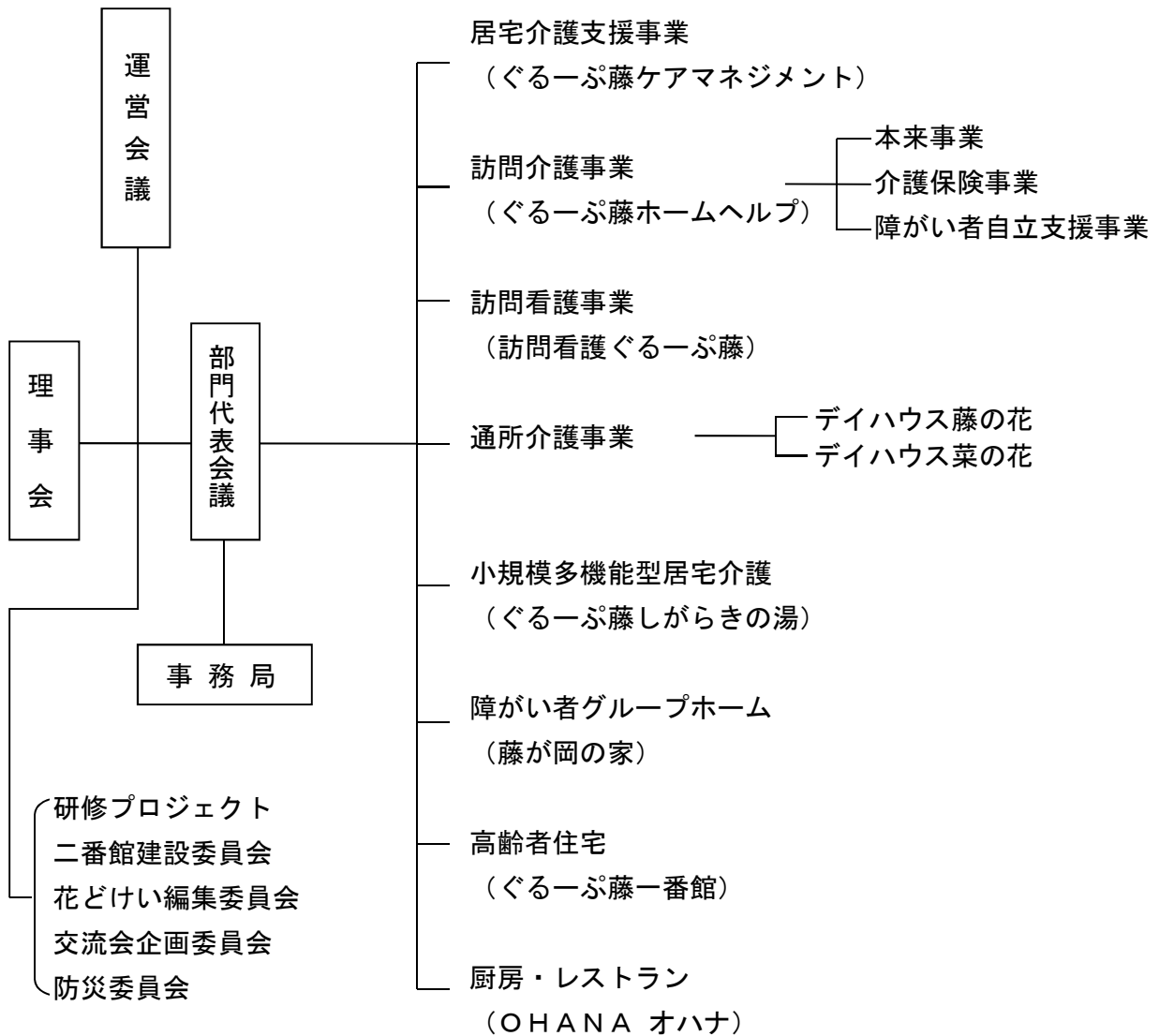
- ①内 容：福祉・医療に関する相談業務
- ②日 時：通年
- ③場 所：藤沢市およびその近接地域
- ④従事者人員：10名
- ⑤対 象 者：多数

2012年度 活動予算書(特定非営利活動に係る事業)
2012年4月1日から2013年3月31日まで

(税込、単位：円)

科 目		金 額		(税込、単位：円)
I 経常収益				
1	入金収入			
	正会員入金	10,000		
	さわ入会金	12,000	22,000	
2	会費収入			
	賛助会費	15,000		
	正会員年会費	10,000		
	さわ会費	100,000	125,000	
3	事業収入			
	事業収入		308,446,900	
4	補助金等収入			
	助成金補助金収入		300,000	
5	雑収入		2,047,980	
6	寄付金収入		3,000,000	
	経常収益計			313,941,880
II 経常費用				
1	事業費			
(1)	給料手当等	185,175,005		
	人件費計	185,175,005		
(2)	その他経費			
	有償ボランティア	1,728,000		
	食料費	17,292,822		
	事業費	5,581,920		
	燃料費	950,400		
	消耗品費	1,327,000		
	繕修費	748,000		
	印刷費	468,000		
	什器備品費	623,000		
	水道光熱費	6,483,600		
	賃借料	6,608,603		
	保険料	277,920		
	通信費	918,360		
	研修費	284,000		
	まちづくり対策費	500,000		
	会議費	42,000		
	租税公課	436,867		
	償却費	15,711,556		
	法定福利費	18,100,000		
	諸会費	14,000		
	支払利息	9,755,567		
	支払手数料	254,200		
	被災地支援費	1,000,000		
	雑費	1,756,800		
	福利厚生費	708,372		
	その他経費計	91,570,987		
	事業費計		276,745,992	
2	管理費			
(1)	給料手当等	2,644,000		
	人件費計	2,644,000		
(2)	その他経費			
	福利厚生費	1,707,400		
	会議費	983,800		
	旅費	1,260,000		
	燃料費	4,320		
	通信費	675,120		
	什器備品費	130,000		
	消耗品費	1,860,000		
	繕修費	100,000		
	印刷費	636,800		
	水道光熱費	816,000		
	賃借料	3,394,298		
	保険料	11,452,538		
	諸謝金	250,000		
	研修費	2,250,000		
	租税公課	934,600		
	雑予備費	2,180,000		
	管理諸費	1,500,000		
	支払手数料	3,363,600		
	諸会費	300,000		
	その他経費計	144,000		
	管理費計	33,942,476		
	経常費用計		36,586,476	
	当期経常増減額			313,332,468
	当期正味財産増減額			609,412
	前期繰越収支差額			609,412
	前期繰越収支差額			158,304,672
	次期繰越収支差額			158,914,084

2012年度ぐるーぷ藤組織図



◆メンバー構成◆

2012.3.31 現在

20代	1名	0.8%
30代	7名	5.3%
40代	41名	31.2%
50代	28名	21.3%
60代	42名	32.1%
70代	11名	8.3%
80代	1名	0.8%
計	131名(実働人数)	

年間活動一覧

2011年4月～2012年3月

月	日	内部活動	日	研修、学習	日	外部活動
4月	1	代表者会議(15)、ケアミーティング	19	「看護職員研修会」主催：県小規模連絡会	13	NPO法人ふじさわNPO連絡会理事会
	5	評価プロジェクト	20	「認知症について・医療連携について」 聖テレジアオープンセミナー	22	市民福祉団体全国協議会常務理事会
	6	第1回運営会議			24	東日本大震災復興NPO支援全国プロジェクト設立総会
	9	第1回運営報告会、ヘルパー会議、デイ・一番館スタッフ会議	28	藤沢市養育支援訪問員・ひとり親家庭日常生活支援員研修会	28	藤沢市障害者自立支援協議会・居宅サブ協議会
	11	20周年記念実行委員会			29	コンフォール藤沢自治会総会
	12	一番館・しがらきミーティング				
	14	税理士打合せ、しがらき「運営推進会議」				
	15	厨房ミーティング				
	16	しがらきリーダー会				
	21	研修プロジェクト、花どけい編集委員会、事務局会議				
	22	藤が岡の家月例食事会				
	25	訪問看護ミーティング、花どけい61号発行				
	26	デイミーティング、デイリーダー会				
	27	ケアマネミーティング				
	28	藤が岡の家ミーティング、交流会企画委員会				
5月	6	代表者会議(15)	12	「統合失調症とそのリハビリ」主催：藤沢市保健所	9	藤沢市障害者自立支援協議会・居住サブ協議会
	9	ケアミーティング	14	「がん診療連携拠点病院における地域連携の現状と課題」 主催：湘南中央病院	12	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	11	第2回運営会議			17	認知症対応型通所介護事業所連絡会
	14	第2回運営報告会、ヘルパー会議、デイ・一番館スタッフ会議	16	23年度介護保険集団指導講習会	18	江戸川総合人生大学講演
	17	デイリーダー会、一番館・しがらきミーティング	17	「在宅や施設で提供できるリハビリテーション」 主催：ライフタウン診療所	20	NPO法人昴の会理事会
	18	厨房会議			21	NPO法人ふじさわNPO連絡会総会
	19	期末監査、研修プロジェクト、事務局会議	20	23年度有料老人ホーム運営講習会	25	障害福祉サービス事業者等説明会
	20	税理士打合せ、厨房ミーティング	24	藤沢市養育支援訪問員・ひとり親家庭日常生活支援員研修会	29	～6/4 被災地支援(仙台・東松島・亶理)
	23	藤が岡の家月例食事会	26	ぐるーぶ藤新人研修		
	26	藤が岡の家ミーティング	30	「介護保険改正と今後の方向性」主催：NPO渋谷		
	28	第7回(通算第19回)通常総会				
	30	訪問看護ミーティング				
6月	1	ケアマネミーティング	2	食品衛生責任者講習会(9)	4	市民福祉団体全国協議会総会及び記念シンポジウム
	3	代表者会議(20)	4	介護保険を考える湘南の会	7	藤沢市障害者自立支援協議会・居住サブ・研修ワーキング
	6	ケアミーティング	15	「認知症の症状と治療について」主催：ライフタウン診療所	7	神奈川県小規模連絡会
	8	第3回運営会議、花どけい編集委員会(22)	17	「認知症と薬について・認知症の看護と介護」 主催：藤沢在宅医療研究会	9	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	11	第3回運営報告会、ヘルパー会議、デイ・一番館スタッフ会議			13	藤沢市障害者自立支援協議会・居住サブ協議会
	11	しがらき「運営推進会議」	18	「木村先生の心理講座」共催：ぐるーぶ藤・すみれ	13	横浜国立大学講師
	18	しがらきリーダー会	18	「ケアマネジャーと訪問ステーションの連携を考える」 主催：県連絡協議会	17	日本老年社会学会シンポジスト
	20	税理士打合せ、20周年記念実行委員会	20	「認知症の診断・治療・介護、嚥下障害の基礎と臨床」 聖テレジアオープンセミナー	22	NPO法人ふじさわNPO連絡会役員会
	21	一番館・しがらきミーティング			23	横浜市立大学講師
	22	一番館消防訓練			24	藤沢市精神障害者地域生活支援連絡会
	23	藤が岡の家月例食事会			27	コンフォール藤沢「ふるさと祭り」実行委員会
	24	厨房ミーティング				
	25	第1回交流会「戸塚崎陽軒・イルサッチオ」				
	27	第1回理事会、デイリーダー会、デイミーティング				
	29	ケアマネミーティング				
	30	藤が岡の家ミーティング				
7月	1	代表者会議(15)	2	「介護保険を考える湘南の会」	10	～12 被災地支援(仙台・東松島・亶理)
	4	訪問看護ミーティング	4	「脳血管障害の概略を掴む」高次脳機能障害ってなんだろう？ 聖テレジアオープンセミナー	14	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	6	第4回運営会議			21	毎日新聞主催「メトロポリタンアカデミー」講師
	9	第4回運営報告会、ヘルパー会議、デイ・一番館スタッフ会議	7	「ひきこもりの理解と対応」主催：市保健所	25	市民福祉団体全国協議会常務理事会
	11	20周年記念誌編集委員会	9	「法令順守・倫理規定・個人情報保護について」主催：ぐるーぶ藤研修PJ	29	コンフォール藤沢「ふるさと祭り」実行委員会
	13	藤が岡の家月例食事会	16	救命救急講習 主催：ぐるーぶ藤研修PJ	30	神奈川県主催「湘南・江の島みらいセミナー」講師
	19	一番館・しがらきミーティング、デイリーダー会	20	「感染症研修会」主催：市保健予防課		
	20	厨房会議	22	「乳がんの治療について」主催：市民病院		
	21	事務局会議	23	「津波対策学習会」主催：市災害対策課		
	22	税理士打合せ、厨房ミーティング	27	「傷の正しい治し方」主催：療養病棟懇談会		
	23	一番館運営懇談会	27	「ストマー講習会」主催：市民病院		
	25	花どけい62号発行	29	「東日本大震災支援の現状から私達ができることを考える」 主催：県小規模多機能居宅介護事業者連絡会		
	27	ケアマネミーティング、藤が岡の家ミーティング	30	「介護技術スキルアップ」主催：医療経済研究社福協		
	27	役員報酬検討プロジェクト				
8月	5	代表者会議(19)	4	「神経疾患について、低栄養予防は介護予防」 聖テレジアオープンセミナー	4	NPO法人ふじさわNPO連絡会解散総会
	10	第5回運営会議			11	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	13	第5回運営報告会、ヘルパー会議、デイ・一番館スタッフ会議	20	「第19回竹内先生介護講座」主催：ぐるーぶ藤研修PJ	12	神奈川県小規模連絡会
	18	しがらき「運営推進会議」	26	「NPO法改正＆新寄付税制を学ぶ地域学習会」主催：かながわNPO研究	16	藤沢市認知症通所介護事業所連絡会
	20	しがらきリーダー会			27	コンフォール藤沢「ふるさと祭り」
	22	税理士打合せ、訪問看護ミーティング、20周年記念実行委員会				
	24	役員報酬検討プロジェクト				
	26	厨房ミーティング				
	30	デイミーティング、デイリーダー会、一番館・しがらきミーティング				
	31	ケアマネミーティング、藤が岡の家ミーティング				
9月	1	20周年記念誌担当会議	3	「介護保険見直し学習会」主催：実行委員会	8	藤沢市障害者自立支援協議会・居住サブ協議会
	2	代表者会議(16・30)	4	公開医療講座「眼科的疾患」主催：ぐるーぶ藤研修PJ	9	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	5	ケアマネミーティング、交流会企画委員会	5	精神障害者ホームヘルパー現任研修	14	指定障害福祉サービス事業者説明会
	7	第6回運営会議	8	「部下(介護・看護師)のストレスマネジメント」 主催：県小規模連絡会	15	名古屋「さくら一番館」開所式
	10	第6回運営報告会、ヘルパー会議、デイ・一番館スタッフ会議			27	「iSB公共未来塾」講師
	13	研修プロジェクト	8	23年度難病患者等ホームヘルパー養成研修		
	15	しがらきリーダー会、花どけい編集委員会(29)、事務局会議	8	認知症キャラバンメイト養成研修		
	21	役員報酬検討プロジェクト、厨房会議	8	第4回藤沢フットケア研究会		
	22	税理士打合せ	20	「回復期リハビリテーション・セラピューティックレクリエーション」 聖テレジアオープンセミナー		
	23	TBS「サタデイズぱっと！」取材				
	24	TBS「サタデイズぱっと！」放映	26	NPO法改正＆新寄付税制を学ぶ地域学習会inかながわ 主催：かながわNPO研究会		
	26	第2回理事会				
	27	デイミーティング、デイリーダー会、一番館・しがらきミーティング	27	ケアマネ連絡会A・Bグループ合同研修 「認定調査票の過去14日間に受けた医療について」		
	28	ケアマネミーティング、藤が岡の家ミーティング	29	第1回理事長と語る会 主催：ぐるーぶ藤研修PJ		
	28	訪問看護ミーティング、藤が岡の家月例食事会				

月	日	内部活動	日	研修、学習	日	外部活動
10月	3	ケアマネミーティング	1	「どう変わる介護保険」主催：実行委員会	18	藤沢市精神障害者地域生活支援連絡会
	5	第7回運営会議	2	「在宅における痰の吸引について」主催：全国訪問看護事業協会	19	藤沢市キャラバンメイト連絡会
	7	ケアミーティング	6	「英国キャメロン改革と社会保障制度」主催：国際福祉機器展	25	立教大学講師
	8	第7回運営報告会、ヘルパー会議、デイ・一番館スタッフ会議	6	第2回理事長と語る会 主催：ぐるーぶ藤研修PJ	31	神奈川県小規模連絡会
	13	しがらきリーダー会	8	「脳を知り認知症を予防する」東北大学 川島隆太教授 ～16海外研修「イギリス」		
	14	東海大生ケーブルTV向け撮影・取材	12	精神障害者ホームヘルパー現任研修		
	15	第2回交流会「キャッツ」観劇	13	「うつ病の治療とその対応」主催：藤沢病院		
	17	藤が岡の家月例食事会	14	「目指そう！地域ぐるみの褥瘡対策」主催：藤沢褥瘡研究会		
	18	デイミーティング、デイリーダー会	14	ノロウイルス等感染症研修会（18）		
	19	役員報酬検討プロジェクト、厨房会議	18	第3回理事長と語る会 主催：ぐるーぶ藤研修PJ		
	20	しがらき「運営推進会議」	21	ケアマネ連絡会Bグループ・地域包括支援センター合同研修 「食の支援に向けたケアマネジメントを！」		
	21	代表者会議、インフルエンザ予防接種	22	県訪問看護 St. 連絡協議会定例会研修会 「訪問看護を中心とした在宅ケアをイメージするpart2」		
	24	税理士打合せ、訪問看護ミーティング	29	「中堅職員リーダーシップ研修」主催：県訪問看護 St. 連絡協議会		
	25	一番館・しがらきミーティング、花どけい63号発行				
	26	ケアマネミーティング				
11月	1	代表者会議（18・25）	1	ケアマネ連絡会ABグループ合同研修会 「癌がミラの事例を通して」	6	市障害者自立支援協議会・居住者協議会湘南ゆうき村見学
	3	ケアミーティング	2	第4回理事長と語る会 主催：ぐるーぶ藤研修PJ	7	賃金引上げ支援対策運営委員会（厚労省委託事業）
	4	運営委員指名委員会	3	～6 上海福祉視察ツアー	10	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	7	厨房ミーティング	5	初任管理者研修 主催：県訪問看護 St. 連絡協議会	10	介護保険の充実を求める請願書提出
	8	研修プロジェクト	8	「摂食・嚥下機能支援研修会」主催：市保健所	10	第1回市民福祉団体全国協議会中期計画策定委員会
	9	第8回運営会議	15	認知症サポーター研修	22	産業能率大学講師
	11	20周年記念誌座談会	16	「リハビリQ&A」 聖テレジアオープンセミナー	24	「国家ビジョン研究会」フォーラム
	12	第8回運営報告会、ヘルパー会議、デイ・一番館スタッフ会議	17	ケアマネBグループ研修「退院時に連携の在り方」	29	市民福祉団体全国協議会常務理事会
	14	藤が岡の家月例食事会	18	「緩和ケア勉強会 疼痛のコントロール」主催：市民病院		
	16	役員報酬検討プロジェクト、厨房会議	19	「中堅リーダーシップ研修」主催：県訪問看護 St. 連絡協議会		
	17	しがらきリーダー会、事務局会議、	20	「双極性障害の治療とその対応」 主催：精神科診療所協会こころと福祉の相談会		
	21	20周年記念実行委員会、花どけい編集委員会				
	22	デイリーダー会				
	24	税理士打合せ、一番館・しがらきミーティング				
	26	ぐるーぶ藤研立20周年記念式典・講演会・祝賀会				
	28	藤が岡の家ミーティング				
	29	訪問看護ミーティング				
12月	2	代表者会議（16）	1	第5回理事長と語る会 主催：ぐるーぶ藤研修PJ	3	～4 被災地支援「東松島パラソル喫茶体験バスツアー」
	5	厨房ミーティング	3	「ターミナルがん患者の療養先はどこへ」主催：県立がんセンター	5	賃金引上げ支援対策（厚労省委託事業） ヒアリング・市民協
	8	第9回運営会議	3	「マニュアル活用管理者研修」主催：県訪問看護 St. 連絡協議会	7	「国家ビジョン研究会 医療看護介護部会」
	10	第9回運営報告会、ヘルパー会議、デイ・一番館スタッフ会議	5	スキルアップ研修 主催：ぐるーぶ藤研修PJ	8	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	12	20周年記念誌担当会議	13	スキルアップ研修 主催：ぐるーぶ藤研修PJ	9	福祉事業の後継者育成・確保（厚労省委託事業） ヒアリング・浜銀総研
	13	デイリーダー会	13	「褥瘡対策勉強会予防編 ポジショニング、体交、移動のコツ」 主催：市民病院	12	「国家ビジョン研究会 医療看護介護部会」
	14	情報の公表実地調査	14	「パーキンソン病 地域医療 訪看の役割等」 聖テレジアオープンセミナー	15	神奈川県小規模連絡会
	15	しがらき「運営推進会議」	21	スキルアップ研修 主催：ぐるーぶ藤研修PJ	20	第2回市民福祉団体全国協議会中期計画策定委員会
	16	訪問看護ミーティング				
	17	藤の花家族会				
	19	第3回理事会				
	21	ケアマネミーティング、藤が岡の家クリスマス会				
	22	税理士打合せ、一番館・しがらきミーティング				
	23	夜間避難訓練				
	27	デイミーティング				
	28	藤が岡の家ミーティング				
1月	6	代表者会議（20）	12	スキルアップ研修 主催：ぐるーぶ藤研修PJ	5	藤沢市賀詞交換会
	10	ケアミーティング	17	「大腿骨頸部骨折・店頭年齢を探る」 聖テレジアオープンセミナー	7	～9 被災地支援（ひびき工業団地・気仙沼・南三陸・石巻）
	11	第10回運営会議	18	ケアマネ連絡会管理者研修会	8	コンフォール藤沢自治会新年会
	13	厨房ミーティング	18	「サービス提供責任者スキルアップ研修	12	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	14	第10回運営報告会、新年会、デイミーティング	20	事業所連絡会・ケアマネ事業所連絡会合同研修 「介護保険最新情報について」	12	藤沢市介護保険事業所合同新年会
	17	デイリーダー会	21	「成年後見人について知ろう」 主催：市民福祉団体全国協議会	17	神奈川県小規模連絡会
	18	厨房会議	27	スキルアップ研修 主催：ぐるーぶ藤研修PJ	18	藤沢市内訪問看護 St. 連絡協議会
	19	しがらきリーダー会、事務局会議、藤が岡の家月例食事会	31	「介護報酬改定について」 主催：NPO渋谷	18	「褥瘡対策勉強会・治療編」主催：市民病院地域連携室
	24	税理士打合せ			21	あべともこ新春のつどい
	25	花どけい64号発行			25	ひとり親家庭日常生活支援事業説明会
	30	一番館・しがらきミーティング			26	市民福祉団体全国協議会常務理事会
	31	ケアマネミーティング、藤が岡の家ミーティング、厨房ミーティング				
2月	3	代表者会議（21）	7	認知症対応型サービス管理者研修（8）	2	かもめの会主催「災害時の備え」講師
	5	ケアミーティング	14	「介護保険制度改正・報酬改定のポイント」講師：服部万里子氏	4	「国家ビジョン研究会 教育部会フォーラム」
	7	第11回運営会議	15	「サービス評価の円滑な実施と活用」主催：県小規模連絡会	9	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	11	第11回運営報告会、ヘルパー会議、デイ・一番館スタッフ会議	16	「厨房設備機器展・国際ホテルレストランショー」主催：HCJ	16	第3回市民福祉団体全国協議会中期計画策定委員会
	14	研修プロジェクト	17	「緩和ケア勉強会・消化器症状のマネジメント」主催：市民病院	16	藤沢市障害者自立支援協議会・居住者協議会
	16	しがらきリーダー会、しがらき「運営推進会議」	19	「移乗用の福祉道具に触れてみる・慣れてみる」共催：研修PJと湘南改造	26	藤沢市主催「NPOとの協働事業プレゼン」オブザーバー
	23	藤が岡の家月例食事会	20	事業推進委員会「インストラクター養成研修」（厚労省委託事業）	29	「少子・高齢社会へのシステム転換を提言する会」
	27	デイミーティング	20	「介護報酬改定」主催：NPO渋谷		
	28	デイリーダー会、一番館・しがらきミーティング	21	「訪問介護事業所研修会・交流会」主催：藤沢包括支援センター		
			23	「褥瘡について、放射線検査について」 聖テレジアオープンセミナー		
			26	「介護保険改正と介護支援専門員の役割」主催：県介護支援専門員協会		
3月	2	代表者会議（8）	7	「世話人研修」主催：藤沢市障がい者地域自立支援協議会	8	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	5	ケアミーティング	15	「市民病院の認知症への取り組みと在宅精神障がい者支援について」 主催：ぐるーぶ藤研修PJ	9	～10 被災地支援「天まで届け！私たちの夢！」 夢ハンカチ！希望の虹をかけよう！
	7	第12回運営会議			11	「国家ビジョン研究会」
	10	第12回運営報告会、ヘルパー会議、デイ・一番館スタッフ会議			15	第4回市民福祉団体全国協議会中期計画策定委員会
	14	臨時運営会議			22	～23 被災地支援（気仙沼、南三陸）
	15	しがらきリーダー会、事務局会議			27	藤沢市小規模連絡会
	21	臨時運営会議、花どけい編集委員会			28	ひとり親家庭日常生活支援事業説明会
	22	税理士打合せ			29	介護報酬等の制度改正に係る説明会
	26	第4回理事会、藤が岡の家ミーティング			31	～4/1 被災地支援（東松島パラソル喫茶体験バスツアー）
	27	デイリーダー会、デイミーティング、一番館・しがらきミーティング				
	28	臨時運営会議、ケアマネミーティング				
	29	藤が岡の家月例食事会				

一番館 災害時「駆けつけ」マップ

地図の範囲外のメンバー

鶴沼海岸 2丁目	2名
鶴沼松が岡	1名
辻堂東海岸 2・3丁目	3名
辻堂西海岸 1丁目	3名
辻堂	1名
城南	1名
湘南台	1名
円行	2名
下土棚	1名
亀井野	5名
天神町	1名
石川	3名
遠藤	1名
大庭	1名
善行	1名
善行団地	2名
鎌倉市	2名
相模原市	1名
茅ヶ崎市	3名

